コンクリート構造物のインフラドック構築 フィージビリティ調査研究委員会

JCI-TC125FS

■委員会設立主旨

21世紀はSustainable 社会の世紀であり、長寿命化の concept は人間のみならずインフラ施設でも重要である。東日本大震災復興の今後も踏まえれば、コンクリート既設建設物の維持管理及び点検・診断のための技術と制度の整備が必要である。しかし、現状の目視や架け替え時期判定のための点検では不十分であるため、「人間ドック」と同様なインフラドックの構築が持続可能なコンクリート構造物維持のため急務と考えられる。

そこで、コンクリート構造物のインフラドック構築のための点検技術として 現場計測法の整備を図り、インフラドックに有用な検査法の整理・提案を早急 に行う。さらに、インフラドックでの業務の制度を確立し、それを担当するド クター制度の整備も避けては通れない問題と考えられる。そこで、これらに対 処すべくフィージビリティ調査を行うことにした

与有资格高的资本的均分的3.

- Wenter, Tpager Driver. ?

■活動計画

作業すべき WG の内容は、以下のようである。

WG1:有用なコンクリートの欠陥評価法の整理

検査のために、可視化を含めた現場仕様の非破壊試験法の開発と整理を 進める

WG2:インフラドック現場検査手順の確立

コンクリート構造物のインフラドック構築のための点検技術として現場

WG3: 検査制度の確立と検査員としてのコンクリート診断士の活用/ 実施には、受診方法や制度の確立に加えて、検査員や医師にあたるスタッフが必要で、それには(社)日本コンクリート工学協会の「コンクリート診断士」の活用を検討する。

委員一覧

氏 名

所屬

委員長

大津政康

熊本大学大学院

幹事

岡本享久

立命館大学大学院

幹事

今本啓一

東京理科大学

幹事

永山勝

日本建築総合試験所じ

幹事◆

塩谷智基

京都大学大学院

委員

森濱和正

土木研究所

委員

濱埼仁

建築研究所

委員

鈴木哲也

新潟大学

委員

沢田陽佑

日本工営

委員

小林信一

太平洋コンサルタント

委員

湯山茂徳

日本 PAC

委員

渡邊佳彦

西日本旅客鉄道

委員

西脇智戟

東北大学大学院 工学研究科

委員

込山貴仁

コンステック

委員

加藤絵万

港湾空港技術研究所

委員

松田浩

長崎大学大学院

委員

桃木昌平

飛鳥建設

委員

奥出信博

東海技術センター

委員

渡邊健

徳島大学大学院

委員

大野健太郎

首都大学東京大学院

委員

古賀一八

東京理科大学

委員

上田洋

公益財団法人鉄道総合技術研究所

委員

增井直樹

大林組

海外通信 M. C. Forde

Univ. Edinburgh

海外通信

C. Grosse

Technical Univ. Munich

事務局

公益社団法人日本コンクリート工学会

第1回議事録関連部分抜粋

開催日時 2012.6.18

〇幹事の決定: 岡本 享久(立命館大学院) 今本 啓一(東京理科大) 塩谷 智基(京都大学大学院)

永山 勝(日本建築総合研究所)

○WGの設置と委員の配置

WG1:有用なコンクリートの欠陥評価法の整理(塩谷、今本)

WG2:インフラドッグ現場検査手法の確立(永山)

WG3:検査制度の確立と検査員としてのコンクリート診断士の活用(岡本、永山)

○フオーラムを開催することが委員長より提案された。

第2回議事録関連部分抜粋

開催日時 2012.9.21

○WG1:1)調査対象の絞り込み、2)現場仕様の技術の整理。3)規格・基準の現状調査について審議

WG 2: 現場計測に有用な技術の整備、計測手順の確立、成果物のイメージとしてコースメニューの提示、 活動方針について

WG3:・コンクリート診断士育成の背景、位置づけについての説明。

- ・コンクリート診断士の活用について、別に講習会などを受講されたものをインフラドッグの検査 員として活用する考えが示された。
- ・岡本、永山、大野、加藤、古賀、小林、濱崎、増井、森濱、横沢、渡辺(佳) 各委員所属機関の検査、・維持管理体制を調査し、現状での課題を抽出後、検査員の制度化およびコンクリート診断士に上乗せ要求について調査を進める。

○今後の活動について

3月11日の週にフォーラムを開催することを決定。その後京都大学東京オフィスで本年3月12日午後開催が 決定した。

JCIフォーラム「インフラドック制度への期待」—参加募集— (抜粋)

開催日:2013年3月12日(火)主催: 公益社団法人 日本コンクリート工学会

後援: (予定)土木学会、日本建築学会、セメント協会、日本建設業連合会、建設コンサルタンツ協会、プレストレストコンクリート工学会、日本コンクリート診断士会
21世紀はサステナブル社会の世紀であり、長寿命化のコンセプトは人間のみならずインフラ施設でも重要です。東日本大震災復興の今後も踏まえれば、コンクリート既設建設物の維持管理および点検・診断のための技術と制度の整備が必要です。しかし、現状の目視や架け替え時期判定のための点検だけでは不十分であるため、「人間ドック」と同様な予防保全を目的とする「インフラドック」の構築が持続可能なコンクリート構造物維持のため急務と考えられます。そこで、コンクリート構造物のインフラドック構築のための点検技術として現場計測法の整備を図り、インフラドックに有用な検査法の整理・提案を早急に行うこと(WG1)、インフラドックでの業務の制度を確立すること(WG2)、それを担当するドクター制度の整備(WG3)を目的に、JCITC125FS「コンクリート構造物のインフラドック構築フィージビリティ調査研究委員会」が設立されました。

今回、1年間のフィージビリティ調査の成果について、インフラドック制度の設立に向けた委員会の成果をご紹介し、会員の皆様と実務に向けた意見交換を目的にフォーラムを企画いたしました。関係各位お誘いのうえ、ふるってご参加くださいますよう、よろしくお願いいたします。

記

1. 開催日時: 2013年3月12日(火)13:00~16:30

2. 開催場所: 京都大学東京オフィス会議室

(〒108-6027 東京都港区港南2-15-1 品川インターシティA棟27階)

3. プログラム(予定): 13:00~13:10 開会挨拶大津政康(熊本大学)13:10~13:50 WG1成果講演 塩谷智基(京都大学)、今本啓一(東京理科大学)13:50~14:20 WG2成果講演永山勝(日本建築総合試験所)14:20~14:50 WG3成果講演岡本享久(立命館大学)14:50~15:10 < 休憩>15:10~16:20 パネル討論会16:20~16:30 総括および閉会挨拶

大津政原(前掲)(内容および時間は、都合により変更することがありますので、あらかじめご了承ください。)

4. 参加賣: 消費税込み

正会員(個人) 3000円団体会員※1・後援団体※2 4000円会員外5000円学生※3 1000円

各地区コンクリート診断士会活動報告と計画

報告(1)

98
בו
cr
901

・研修会 書も回の開催 (121中部文部との非価7474 1回、現場及字字 Z回、理子形式のとよう - 5回7 - 6 福泉長寿命化修繕計画策定委員会への委員派遣 (小浜市、勝山市、あわら市、越前市、越前市、お前町、おおい町の委員会) - 6 本井県内の県市町自治体職員向け研修会への講師の派遣 計2回 (現場実習 1回、座学形式のセジー1回) - 1コンクリート診断上受験対策セミナー (福井県土本部) 」の監修、制定 - フクイ建設技術フェアへのブースの出限 - フクイ建設技術フェアへのブースの出限 - フタイ建設技術フェアへのブースの出限 - フタイ建設技術フェアへのブースの出限 - 1コンクリート診断上会が修会、相定
24. 6. 6)、 ③長寿命 会、木村上席基調講演 、東村上席基調講演 ・ 1014. 6. 26 ・ 地劣化度等調査のアド ンクリート診断士に関 24. 6. 22) ③コンクリー 8) ⑤現場見学会 (112. 113. 113. 113. 113. 113. 113. 113.
(4.6.22) ③コンクリン 8) ⑤現場見学会 (H2 1.7.14) (H24.10.13) 支部島根会研究発表
①第9回通常総会(H24, 5, 29)、②技術セミナー(第13回:H24, 9.23、参加者52名、第14回:H25.3.7、参加者52名)、③業務体験発表会(H25.1.29)、④静岡県内現場見学会(H24.11.23参加者30名)、⑤コンクリート診断士試験受験対策直前課度(H24.5.12.13日参加者18名)、⑥役員会(H24.5.7.9,12、H25.1、3 計6回)、①広報部会(HP更新、⑧技術部会(東工大との共同研究)
 ①第6回通常総会(H24. 6. 22) ②辞別講覧会(H24. 6. 22) 「最大クラスの津波想定と石川県の地震津波対策」官島昌克教授(金沢大学) ③現場研修会(H24. 10. 26) 橋りよう補修工事現場見学、北都鉄工工場見学 ④技術セミナー(H24. 11. 27) 「現場技術者のためのコンクリート塩害対策ノート」青山質仲氏(中日本ハイル・エッジニアリップ名古屋・紀支広)、同社コンクリート試験室見学 ①技術セミナー(H25. 3. 1) 会員による診断事例発表会 ⑤技術セミナー(H25. 3. 1) 会員による診断事例発表会
5~H24.7 受講者9名、 ②第6回 受験対策講座:H24.7.8 受講者9名、 ④第12回 技術講演会: H24.6.1(会員限定)参加者43名、 ⑤腐時技術請 1者125名、 ⑥第13回 技術講演会 (一般公開): H24.10.12 参加者18名、 江事)(一般公開) H24.12.7 参加者17名、 :会:計4回、 ⑩調査診断:報告書9件

H18.9設立 学術:2名 個人:34名 (法人・個人:	 ①第7回通常総会(H24.5.7) ②特別講演(H24.5.7)「東日本大震災で被災した構造物の維持管理状況」八戸工業大学・阿波准數長 ③ J C J 東北支部主催「コンクリート診断士の技術研鑽のための勉強会」(H24.10.19 秋田市)への協力 ④ 净極地区診断土勉強会(H23.12.1)参加会員11名 ⑥ 青い森の橋ネットワーク全体会護(H25.2.14)参加 ⑥ 後員会(計2回開催) 	(D第8回通常総会 (H24、5予定) ②特別講演 (H24、5予定) ③JOI東北支部勉強会への協力 ④神軽地区診断士勉強会 (H23、12予定) ⑤役員会 (2回予定)
H18.12.16設立個人: 48名 法人:13社	①県監理技術センター講師派遣 2名 (H24. 5.29)、②SCD総会 (H24. 6.8)、③第1回技術研修会 (H24. 6.8)、④診断士受勢対策講座 (H24. 6.12・13)、⑤SCD現場見学会 (H24. 7.7)、⑥県東部 農林研修会 (H24. 9.12)、⑦県西部農林研修会 (H24.10.18)、⑥TDC合同見学会 (H24.11.22・23)、⑨第2回技術研修会 (H24.11.30) (側役員会 (H24年度・計6回)、	 ①診断士受験対策講座(H25.5.14・15)、②県監型技術センター 請帥派遣 2名(H25.5.16)、③SCD総会(H25.6.14)、④第1 回技術研修会(H24.6.14)、⑤SCD現場見学会(H25.9 頃予定)、⑥第2回技術研修会(H25.10 頃予定)、⑦役員会(H25年度:計6回予定)、
20, 8, 1設立会員数(個人): 24名(25 4, 30)	 ① 第5回通常総会 (II24, 6, 16) 出席者19名 (委任状含む) ③ 第3回コン別→技術研修会 (II24, 9, 7) 参加者160名研修会 受請対象者は県内の土木建設業の土木施工管理 技士が対象CDSG 財化認定 「東京カイツ」の建設概要とコンリー技術」: 網大林組 主任研究員 神代泰道 「東京カイツ」の建設概要とコンリー技術」: 簡加高専 教授 田村隆弘 「下水道施設の現状調査と劣化がユネ」」: 日本遂行設計網高知事務所 技師長 曽我英介 (当会員) 「現場折ちコンリー精造物の検査」: 高知県土木部建設検査課 技査 川崎聡明 「現場研修会 柿体漿(えんたいごう) (高知稀軍航空隊により1949年に作られた鉄筋コン別ー製格納庫) の 補修状況 (II. 25, 3, 8) ④ 役員会 (II24, 4~I25, 3, 31 計12回開催) ⑤ 広報活動 (通年を通じて新規参入会員の誘致) 	(1986回通常総会 (1125, 6, 22予定) (2)第4回コッパー技術研修会 (1125, 9月中の予定) (3)コッパート総所工受験対策略に 器師 島 弘、杭井 克則 (当会顧 ア 間)、橋本 親典 (結島大学 大学院教授) (1125, 5, 18~19) 受講者 32名 (うち受験対象者22名) (4)な員会 (随時) (5)広報活動 (新規有資格者の入会誘致) (5)広報活動 (新規有資格者の入会誘致)
H20.8.22 設立個人:85名法人:16社	本会の会計年度は2012.10.1~2013.9.30までのため完了報告は出来ません。今期は研修会3回、現地見学会1 回を計画し、内、研修会はH24年10月23日、現地見学会はH25年4月23日に完了した。	左記により未定
H20.10.31設立個人:101名 法人:11団体	①第6回通常総会(H24.7.5)、②特別講演(H24.7.5)、②技術セミナー(H25.2.4)、④診断士普及講習会(H24.5.17)、 ③外部研修会への講師派遣(H24.11.5~6)、⑤現場見学会(H24.9.25)、 ②役員・幹事会(H24.4.27他計6回)、②技術部会(H24.5.15他計4回)、⑨広報活動(簡時)	 ○第7回通常総会 (旧25.7.4予定)、②シンポジウム (テーマ:インフラの老朽化を考える) (旧25.7.4予定)、③講演会1回 (旧25.11頃予定)、④診断士普及講習会2回、⑤現場見学会1回 (旧25.12頃予定)、⑥技術セミナー1回 (旧26.2頃予定)、①役員・幹事会、⑧技術部会、⑨広報活動
H21. 1. 30設立 会員数 (H25.3) 個人:116名 法人:25社	①第4回通常総会(H24.2.71)、②特別講演(H24.2.71)、③診断士普及講習会(H24.3.27)、④第1回コンクリート診断技術研修会(H24.6.15)、③第2回コンクリート診断技術研修会(H24.7.28)、⑥3回コンクリート診断技術研修会(H24.11.9)、⑦役員会(H24.4.19、H25.3.6)、⑧技術部会(H24.6.14、H27.12.7)、⑧広報活動(入会促進活動、外部講師派進、JC1との連携)	①第5回通常総会(H25.4.12)、②コンクリート診断技術が修会4回(H25.6・7・8・11予定)、③特別講演会1回(H25.4.12)、④診断土普及講習会1回(H25.5予定)、⑤現場研修会1回(H25.10予定)、⑥役員会、⑦技術部会、⑧広報活動
H22. 6. 18設立個人: 6.0名法人: 4社	①第3回東帯コンクリート診断土会通常総会(H24.5.25)、②第2回東海コンクリート診断土会研修会(H24.7.24)、③東海コンクリート診断士会・M5の会 合同研修会(H24.10.1)、④東海コンクリート診断 士会 幹事会(H24.12.13)、③東海コンクリート診断士会 幹事会(H25.3.13)	 ○第4回東海コンクリート診断士会通常総会 (旧25.7.12予定)、②第4回東海コンクリート診断士会 研修会 (旧25.7.12予定)、③第5回東海コンクリート診断士会 研修会 (旧25.10頃予定)、④東海コンクリート診断士会 幹事会 (旧25.12頃予定)、⑤東海コンクリート診断士会 幹事会 (旧25.12頃予定)、⑤東海コンクリート診断士会 幹事会 (旧25.12頃予定)、⑤東海コンクリート診断士会 幹事会 (旧25.12頃予定)
H22.8.21設立個人:55名	①第3回通常総会(H24. 6. 16)、②特別講祢(H24. 6. 16) ③役員会(H24. 4. 7、H24. 6. 16、計2回)③広報活動(ホームページ)	①第4回通常総会 (II26, 6, 15予定)、②コンクリート診断技術研修会1回 (総会記念講禎予定) ⑥役員会 (2回開催予定) ⑧広報活動(ホームページ)
日23.7.22設立 会員数 正会員(個人): 74名 發助会員(法	①第2回通常総会(H24.7.11)、②特別講演(H24.7.11)十河広島工業大学教授「東日本大震災から得た教訓~震災から1年経過して~」、③診断士普及講習会:講師派遣 広島県測量設計業協会主催 コンクリート構造物の維持管理講習会(H24.9.25)、①現場研修会(H24.4.26)「ASP-塩害の複合劣化の現地調本見学及び診断統討会」、広島県東部港湾荷役施設、⑥役員会(H24.隔月計6回)、⑥技術研修会(H24.個月計6回)、⑥技術研修会(H22.個月計5回)、⑧技術研修会(H22.個月計5回)、『その他:庭談会 「中国地方のコンクリート構造物補修技術の課題と展望」 業界紙「中建日報」H25.1.1号掲載	①第3回道常総会 (H25.6.28予定)、②技術研修会5回 (隔月予定)、③講放会1回 (第3回通常総会時予定)、④診断士普及講習会:講師派遣 広島県測量設計業協会主催 コンクリート構造物の維持管理講習会 (H25.5.28)、⑤現場研修会1回(6月頃予定)、⑥

一般社団法人日本コンクリート診断士会 理事会名簿

	OT ANY		2013.5. 28
2.200 to 10.000 per 10.0000 per 10.000 per 10.000 per 10.000 per 10.000 per 10.000 per 1	氏 名	役 職	地区診断士会役職
理事 会長	林 静雄	JCD会長	
理事	小野 定	JCD副会長	東京診断士会 会長
理事	佐藤 嘉昭	JCD副会長	NPO法人大分県診断士会 理事長
理事	田澤 雄二郎	企画部会長	東京診断士会 副会長
理事	石川 裕夏	企画部会副部会長	福井診断士会 会長
理事	奥田 由法	技術部会長	石川診断士会 相談役
理事	有本 尚巳	技術部会副部会長	鳥取診断士会 会長
理事	奈良 裕	広報部会部会長	青森県診断士会 会長
理事	長谷川 光弘	広報部会 副部会長	京滋診断士会 会長
理事	名倉 昭三	会員担当	静岡診断士会 会長
理事	井田 豊	会計担当	島根県診断士会会長
理事	日堂 俊之	会員担当	長野県診断士会 会長
理事	原田 隆敏	会員担当	高知県診断士会 会長
理事	竹内 祥一	会計担当	東海診断士会 会長
理事	毎田 敏郎	事務局長	東京診断士会 事務局次長
監事	伊藤 司郎		新潟県診断士会 副会長
監事	上原 泰正		北海道診断士会 会長
	×		